

和倉小だより

1月号

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>
学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

七尾市立和倉小学校
TEL 62-2070
FAX 62-2082
文責 村中

【目指す学校像】

- 子どもにとって：『勉強がわかるから、楽しい学校』
- 保護者にとって：『信頼できるから、協力したい学校』
- 地域にとって：『活動が見えるから、応援したい学校』
- 教職員にとって：『子どもや仲間がいるから、働きたい学校』



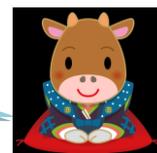
～ 新しい年の始まり ～



あけましておめでとうございます。令和3年・2021年がスタートしました。皆様にとりまして輝かしい年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。8日から3学期が始まりました。児童が登校し元気にあいさつする姿が見られたことを大変嬉しく思います。また、冬休み中、和倉っ子が大きな事故やけがもなく過ごすことができました。保護者や地域の皆様方のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、令和3年・2021年は「辛丑（かのと・うし）」の年にあたり、十二支では2番目の年となります。丑(牛)は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になるといわれています。また、結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期でもあります。

そこで、子ども達には、丑(牛)のような勤勉さと堅実さを大切にしながら物事に対して真面目に取り組むことにより、一人一人のこれからの歩みにおける芽の出る年にしてほしいと思います。



正月恒例の箱根駅伝では、最終区での劇的な逆転劇が見られました。また、前回大会で初シード権を獲得した大学の4区の選手が2位でタスキを受けトップに立つと、そのまま5区で逃げ切り見事往路初優勝を果たしました。この4区を走った選手は、目の難病と闘いながら練習を重ね、前回大会では最終区を区間新記録で走りシード権獲得に大きく貢献し、今回は往路優勝の立役者となりました。決して順調とは言えなかった今シーズンを振り返り、「**本当にみんなの支えがあって、今ここにいる**」と周囲の方々への感謝の気持ちを語っていました。

さて、3学期は、6年生が47日間、1年生から5年生が51日間の登校予定となります。それぞれの学年のゴールが見えてきました。いよいよラストスパートです。一人一人がそれぞれのゴールテープをどのように切るのかを思い描きながら、学校生活を送ってほしいと思います。そして、ゴール後はこの箱根路を力走したランナーのように達成感を味わってほしいと思います。



最後になりましたが、保護者及び地域の皆様方には、昨年同様本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。